

1 単元名「楽しいちびっこみどり」

2 単元について

本単元は、小学校学習指導要領解説生活編の内容（6）「自然や物を使った遊び」と（8）「生活や出来事の伝え合い」を関連させた単元で、2つのねらいがある。1つ目は、身近にあるものを使って秘密基地を作る活動を通して、秘密基地を工夫して作ったりして考えを巡らせ、その面白さや不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとすることである。2つ目は、1年生と「秘密基地づくり」を行うために、相手のことを想像したり、作りたい基地や作り方を伝える方法を考えたりして、身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かるとともに、進んで触れ合い交流しようとするすることである。

3 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

ちびっこみどりの学校に向けた秘密基地づくりの活動を通して、作りたい基地や作り方を伝える方法を考えながら基地を工夫して作り、基地づくりの面白さや不思議さ、身近な人々と関わることのよさ、楽しさに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとしたり、進んで触れ合い交流しようとする。

(2) 単元の評価規準

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての知識・理解
ア 「秘密基地づくり」の活動に関心をもち、作りたい基地への思いを膨らませている。	ア 比較・分類・関連付けを通じた思考をしながら、遊びを創ったり工夫したりしている。	ア 秘密基地を工夫する面白さや不思議さに気付いている。
イ 思いや願いをもって、基地や伝える方法を考えようとしている。	イ 試したり、予測したり、工夫したりしながら本番に向けて活動している。	イ 自分たちの活動が作りたい基地を作ることやみんなで楽しく遊ぶことに繋がったことに気付いている。
ウ 友達や1年生と触れ合い、楽しく交流しようとしている。		

4 本単元において育みたい自律性と、働かせる「見方・考え方」

経験を基に自分の思いを膨らませ、それを実現していくことを通して、自分自身の成長に気付いていく姿

基地づくりに必要なわざについての気づきを比較・分類・関連付けを通して考えること

1年生への基地づくりのコツの伝え方を試行、予測、工夫を通して考えること

5 学級・学年経営年間プログラムとのかかわり

学 活「みどりの学校に向けて」

本単元生活科「楽しいちびっこみどり」

国語科「すみれとあり」

国語科「好きなことをつたえよう」

ちびっこみどりの学校

国語科「たんけんしたことをつたえよう」

6 学びの過程のデザイン（全12時間）

学 習 活 動

一貫した主体的学びをつなぐ手立て

1 昨年度の「ちびっこみどりの学校」を思い出しながら、教師の見本を見たり、実際に遊んだりする活動を通して自分の作りたい基地について考える。**関ア**

ゆめの秘密基地を作るために、基地づくりマスターになろう。

2～6 前時の内容と「マスターカード」の内容から、自分が身に付けたいことを選び、基地作りのコツについて考える。**思ア**
知ア

【個の確立】基地作りに必要なわざを記した「マスターカード」を提示し、できるようになりたいという思いを引き出すとともに、1年生に伝える作戦会議までの時間を提示することで、子供が思いを明確にして試行錯誤を行う姿を引き出す。

【見方・考え方を高める】

・児童の発言に対する教師の「どんな時に○○なの？」と児童の発言を繋げたり、「みんなもそう？」と活動をフィードバックさせたりする問いかけや、「○○な場合と△△な場合があるの？」など話題を焦点化する関わりを行うことで、基地づくりのコツについて比較・関連付けしながら思考する子供の姿につなげる。

【個の内面化】

・「1年生に説明するために」という目的意識のもと、Ipadや「コツカード」での記録を促すことで、本時の学びや気づきを自覚し、次の学びにつなげていく児童の姿を引き出す。**I**

1年生に秘密基地のコツを伝える準備をしよう。

7～9 基地作りを通して、1年生に伝える基地づくりのコツやその伝え方を考える。**関イ** **思イ**

【個の確立】1年生との作戦会議で説明できる内容を3つまでを制約をかけることで、子供が目的を明確にして伝える内容や方法を工夫していく姿を引き出す。

【見方・考え方を高める】

・児童の発言に対する教師の「どうしてそれを伝えるの？」と児童の発言を繋げたり、「みんなもそう思うの？」と活動をフィードバックさせたりする問いかけや、「伝わり方が違うの？」など話題を焦点化する関わりを行うことで、基地づくりのコツの伝え方について試行・予測・工夫しながら思考する子供の姿につなげる。

【個の内面化】

・「1年生に説明するために」という目的意識のもと、「コツカード」や設計図への記録を促すことで、本時の学びや気づきを自覚し、次の学びにつなげていく児童の姿を引き出す。**I**

10・11 1年生との作戦会議を通して、これまで考えてきた基地づくりのコツを伝えたり、班の友達と一緒に試しの活動をしたりする。**関ウ**

12 単元を通して蓄積された表現物や、ちびっこみどりの学校当日の写真を基に、気付いたことを交流する。**知イ**

【個の確立】本番を終えた児童の思いを丁寧に聞き取ったり、想起しやすいように写真を提示したりする個別のかかわりを行うことで、子供が思いを明確にすることができるようにする。

【見方・考え方を高める】

・児童の発言に対する教師の「どうしてこんな風にしたの？」と児童の発言を繋げたり、「みんなもそう思うの？」と活動をフィードバックさせたりする問いかけや、「単元の始めと今では違うの？」など話題を焦点化する関わりを行うことで、自分自身の成長について比較・関連付けしながら思考する子供の姿につなげる。

【個の内面化】

・「思い出に残すために」という目的意識のもと、「思い出カード」での記録を促すことで、本単元での学びや気づきを振り返る姿につなげる。**I**

7 本時について (6 / 12 時間目)

(1) 本時の目標

基地づくりの活動で気付いたことを伝え合い、気付きを比較したり関連付けたりすることを通して、段ボール基地を組み立てる工夫を考えることができる。

(2) 一貫した主体的学びを「つなぐ」ために (個の内面化)

- ・活動の最中にも記録できるように Ipad とコツカードを用意しておくことで、自分の活動のよさの自覚化を促す。
- ・コツカードを書く時間を設定することで、相手意識を持ちながら、自分の活動を言語化し、本時の活動の学びや気付きの自覚化を促す。

(3) 本時の展開

学習活動	主な働きかけ・手立て	【評価】 個に応じた指導 (▲)
<p>1 前時までの活動を想起し、本時で解決することの見通しを共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさん「コツ」を見つけたよ。 ・「カッターマスター」になったよ。 ・でも、基地を作るところで困っているんだよね・・・。 	<p>【個の確立】</p> <p><input type="checkbox"/> 子供たちの課題意識に合わせて、たてもものマスターという視点を提示し、マスターになっているかどうか立場を明確にさせる。</p>	
<p>たてもものマスターになるために、作戦会議をひらこう。</p>		
<p>2 「コツカード」や写真を見ながら、ペアで気付いたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめは、壁が立たなかったけど、立つようになったね。 ・壁を2段に重ねたら、倒れてしまったね。 ・片方の屋根はうまくいったけど、片方の屋根はうまくいかなかったな。 	<p>【見方・考え方を働かせる】</p> <p><input type="checkbox"/> うまく立てられた (立てられなかった) 状況を問う。</p>	<p>▲前時の活動の想起が難しい児童には、写真を提示し、活動の状況を問うことで、想起を促す。</p>
<p>3 ペアで話したことを基に、壁や屋根を立てるためのコツを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・壁がまっすぐなままだと、立たないから曲げるといいよ。 ・段ボールの蓋の部分が付いていると、安定したよ。 ・同じくらいの高さの段ボールでやるといいよ。 ・四角にすると、さらに丈夫になるよ。 ・四角ではなくても、壁をつなげたら立ったよ。 ・でも広すぎると、屋根を付けづらいね。 ・少し幅を狭くするといいんだね。 ・屋根を高くするのが難しいよ。 ・壁を2段にしてから、屋根を付けたら、高い屋根ができるのではないかな。 	<p>【見方・考え方を高める】</p> <p><input type="checkbox"/> 児童の発言に対して教師が「どんな時に〇〇なの？」と児童の発言を繋げたり、「みんなもそう？」と活動をフィードバックさせたりする問いかけや、「〇〇な場合と△△な場合があるの？」など話題を焦点化する関わりを行うことで、基地づくりのコツについて比較・関連付けしながら思考する子供の姿につなげる。</p>	<p>【 発 言 】</p>
<p>4 話し合ったことを基に、段ボール基地を作る活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇ちゃんの言っていた方法を試してみるよ。 ・今度は、壁を四角く繋げてみようかな。 ・屋根を高くしたいから、壁を二段にしてみるよ。 	<p>【個の内面化】</p> <p><input type="checkbox"/> 活動の最中にも記録できるように Ipad とコツカードを用意しておくことで、自分の活動のよさの自覚化を促す。①</p>	<p>【ワークシート・観察】</p>
<p>5 「コツカード」に、基地づくりのコツを記入し、本時の学びや気付きを振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四角く繋げたら、本当に丈夫になったよ。 ・壁を二段にしてから、屋根を付けたら△△ちゃんも入れたよ。 ・幅を広くしすぎないことがコツだよ。 	<p>【個の内面化】</p> <p><input type="checkbox"/> コツカードを書く時間を設定することで、相手意識を持ちながら、自分の活動を言語化し、本時の活動学びや気付きの自覚化を促す。①</p>	<p>【ワークシート】</p>

